

シラバス

指定番号 262

商号又は名称： 医療法人 仁寿会

科目番号・科目名	(1)職務の理解			
指導目標	研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的イメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 多様なサービスと理解	3	3		【講義内容】 ○介護保険サービス（居宅、施設） ○介護保険外サービス
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	3	3		○居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容 ○居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的なイメージ （視聴覚教材の活用、現場職員の体験談、サービス事業所における受講者の選択による実習・見学等） ○ケアプランの位置付けに始まるサービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ・他職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携 【実習実施情報】 下記の施設を二時間程度を見学する。 ・医療法人仁寿会 デイサービスセンター円珠の森 ・医療法人仁寿会 グループホーム円珠の丘 ・医療法人仁寿会 グループホーム円珠荘 ・医療法人仁寿会 小規模多機能ホーム （上記施設：大阪府高槻市北柳川町2番6号）
③				
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	(株) 日本医療企画刊行 介護職員初任者研修過程テキスト1を使用
------------	----------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 262

商号又は名称： 医療法人 仁寿会

科目番号・科目名	(2)介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない→行動例を理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 人権と尊厳を支える介護	4	1.5	2.5	【講義内容】 ○人権と尊厳の保持 ○QOLの考え方 ○ノーマライゼーション ○虐待防止・身体(しんたい)拘束(こうそく)禁止 ○個人の権利を守る制度の概要 【通信学習内容】 ・人権と尊厳の保持について ・QOLの考え方について ・ノーマライゼーションについて ・虐待防止・身体(しんたい)拘束(こうそく)禁止について ・個人の権利を守る制度の概要について
② 自立に向けた介護	3	0.5	2.5	【講義内容】 ○自立支援 ○介護予防 【通信額内容】 ・自立、自立支援 ・介護予防の考え方について
③ 人権啓発に係わる基礎知識	2	2	0	【講義内容】 ・人権について ・人権への取り組み ・身近な人権のこと
④				
(合計時間数)	9	4	5	

使用する機器・備品等	(株) 日本医療企画刊行 介護職員初任者研修過程テキスト1を使用
------------	----------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 262

商号又は名称： 医療法人 仁寿会

科目番号・科目名	(3)介護の基本			
指導目標	介護職に求められる専門性と職業理論の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策の重要なものを理解させる。 介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を促すことができるようになる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護職の役割、専門性と多職種との連携	2	1	1	【講義内容】 ○介護環境の特徴の理解 ○介護専門性 ○介護に係る職種 【通信学習内容】 ・介護環境の特徴の理解について ・介護専門性について ・介護に係る職種について
②介護職の職業理論	2	1	1	【講義内容】 ○職業理論 【通信学習内容】 ・職業理論について 【演習内容】 介護職員の職業理論についてグループディスカッションを実施
③介護における安全の確保とリスクマネジメント	1	0.5	0.5	【講義内容】 ○介護労働における安全の確保 ○事故予防 ○安全対策 ○感染対策 【通通信額内容】 ・介護労働における安全の確保について ・事故予防について ・安全対策について ・感染対策について
④ 介護職の安全	1	0.5	0.5	【講義内容】 ○介護職員のこころの健康管理 ○介護職員のからだの健康管理 【通信学習内容】 ・介護職員のこころの健康管理について ・介護職員のからだの健康管理について
(合計時間数)	6	3	3	
使用する機器・備品等	(株) 日本医療企画刊行 介護職員初任者研修過程テキスト1を使用			

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 262

商号又は名称： 医療法人 仁寿会

科目番号・科目名	(4)介護・福祉サービスの理解と医療の連携			
指導目標	介護保険制度や障害者総合支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを列挙できる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護保険制度	3	0.5	2.5	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護保険制度創設の背景と目的 ○介護保険制度の動向 ○介護保険制度のしくみ①保険システム、要介護認定、ケアマネジメント ○介護保険制度のしくみ②介護報酬、財源、組織、その他 ○介護サービスの分類と種類 ○主な介護サービスの内容とサービス事業者・施設 ○保険給付以外の事業 <p>【通信学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度創設の背景と目的 ・介護保険制度の動向 ・介護保険制度のしくみ①保険システム、要介護認定、ケアマネジメント ・介護保険制度のしくみ②介護報酬、財源、組織、その他 ・介護サービスの分類と種類 ・主な介護サービスの内容とサービス事業者・施設 ・保険給付以外の事業
②医療との連携とリハビリテーション	3	0.5	2.5	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護における医療と福祉の連携 ○介護職と医行為 ○リハビリテーション <p>【通信学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護における医療と福祉の連携について ・介護職と医行為について ・リハビリテーションについて
③障がい者総合支援制度及びその他制度	3	0.5	2.5	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○障害者自立支援制度の背景 ○障害者総合支援法に基づく総合的な支援制度 ○障害者ホームヘルプサービスの運営 <p>【通信学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者自立支援制度の背景 ・障がい者総合支援法に基づく総合的な支援制度 ・障害者ホームヘルプサービスの運営
(合計時間数)	9	1.5	7.5	
使用する機器・備品等	(株) 日本医療企画刊行 介護職員初任者研修過程テキスト1を使用			

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 262

商号又は名称： 医療法人 仁寿会

科目番号・科目名	(5)介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められている事を認識し、初任者として最低限の取るべき（取るべきでない）行動例を理解させる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護におけるコミュニケーション	3	1.5	1.5	【講義内容】 ○介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割 ○コミュニケーションの技法 ○道具を用いたコミュニケーション ○利用者・家族とのコミュニケーションの実際 ○利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの実際 【通信学習内容】 ・介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割 ・コミュニケーションの技法 ・道具を用いたコミュニケーション ・利用者・家族とのコミュニケーションの実際 ・利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの実際
②介護におけるチームのコミュニケーション	3	1.5	1.5	【講義内容】 ○記録による情報の共有化 ○介護サービスにおける報告、連絡、相談 ○コミュニケーションを促す環境（介護サービス現場の会議など） 【通信学習内容】 ・記録による情報の共有化 ・介護サービスにおける報告、連絡、相談 ・コミュニケーションを促す環境（介護サービス現場の会議など）
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	(株) 日本医療企画発行 介護職員初任者研修過程テキスト2を使用
------------	----------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 262

商号又は名称： 医療法人 仁寿会

科目番号・科目名	(6)老化の理解			
指導目標	加齢、老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解させる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①老化に伴うところとからだの変化と日常	3	1.5	1.5	【講義内容】 ○老化に伴うところとからだの変化 ○老化に伴うところとからだの変化と日常生活 【通信学習内容】 ・老化に伴うところとからだの変化について ・老化に伴うところとからだの変化と日常生活について
② 高齢者と健康	3	1.5	1.5	【講義内容】 ○高齢者と健康 ○高齢者に多い病気と日常生活上の留意点 【通信学習内容】 ・高齢者と健康について ・高齢者に多い病気と日常生活上の留意点について
③				
④				
⑤				
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	(株) 日本医療企画刊行 介護職員初任者研修過程テキスト2を使用
------------	----------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 262

商号又は名称： 医療法人 仁寿会

科目番号・科目名	(7)認知症の理解			
指導目標	介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護するときの判断基準となる原則を理解させる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①認知症を取り巻く状況	1	0.5	0.5	【講義内容】 ○認知症ケアの理念 【通信学習内容】 ・認知症ケアの理念
②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2	0.5	1.5	【講義内容】 ○認知症の概念 ○認知症による障害 ○健康管理 【通信学習内容】 ・認知症の概念 ・認知症による障害 ・健康管理
③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2	1	1	【講義内容】 ○中核症状 ○行動・心理症状 ○認知症の利用者への対応 【通信学習内容】 ・中核症状 ・行動・心理症状 ・認知症の利用者への対応
④家族への支援	1	1	0	【講義内容】 ○家族への支援
⑤				
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	(株) 日本医療企画発行 介護職員初任者研修過程テキスト2を使用
------------	----------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 262

商号又は名称： 医療法人 仁寿会

科目番号・科目名	(8)障がいの理解			
指導目標	障害の概念と ICF、障害福祉の基本的考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解させる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 障がいの基礎的理解	1	0.5	0.5	【講義内容】 ○障害の概念と ICF の考え方について ○障害者福祉の基本理念 【通信学習内容】 ・障害の概念と ICF の考え方について ・障害者福祉の基本理念について
②障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1.5	0.5	1	【講義内容】 ○視覚障害 ○聴覚・平衡機能障害 ○音声・言語・咀嚼機能障害 ○肢体不自由 ○内部障害 ○障害の受容 ○知的障害 ○精神障害 ○高次脳機能障害 ○発達障害 【通信学習内容】 ・視覚障害について ・聴覚・平衡昨日障害について ・音声・言語・咀嚼機能障害について ・肢体不自由について ・内部障害について ・障害の受容 ・知的障害について ・精神障害について ・高次脳昨日障害について ・発達障害について
③家族の心理、かかわり支援の理解	0.5	0.5	0	【講義内容】 ○家族への支援について
(合計時間数)	3	1.5	1.5	

使用する機器・備品等	(株) 日本医療企画刊行 介護職員初任者研修過程テキスト 2 を使用
------------	------------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 262

商号又は名称： 医療法人 仁寿会

科目番号・科目名	(9)こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できるようになる。 尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得させる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護の基本的な考え方	2	0.5	1.5	【講義内容】 理論と法的根拠に基づく介護 【通信学習内容】 ・理論と法的根拠に基づく介護について
②介護に関するこころのしくみの基礎的理解	4.5	0.5	4	【講義内容】 学習と記憶の基礎知識 感情と意欲の基礎知識 自己概念と生きがい 老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因 【通信学習内容】 ・学習と記憶の基礎知識について ・感情と意欲の基礎知識について ・自己概念と生きがいについて ・老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因について
③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	4.5	0.5	4	【講義内容】 人体の各部の名称と働きに関する基礎知識 骨・関節・筋に関する基礎知識 中枢神経系と末梢神経系に関する基礎知識 自律神経と内部器官に関する基礎知識 こころとからだを一体的に捉える 【通信学習内容】 ・人体の各部の名称と働きに関する基礎知識について ・骨・関節・筋に関する基礎知識について ・中枢神経と末梢神経に関する基礎知識について ・自律神経と内部器官に関する基礎知識について ・こころとからだを一体的に捉えるについて
④生活と家事	6	6	0	【講義内容】 生活と家事の理解 家事援助に関する基礎知識と生活支援 【演習内容】 上記講義内容について、グループにわかれ、講師指導のもと生活支援についてケーススタディを実施
⑤快適な居住環境整備と介護	6	6	0	【講義内容】 快適な居住環境に関する基礎知識 高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法 【演習内容】 上記内容について、講師指導のもと、福祉用具利用についてのグループディスカッションを実施

⑥整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	0	<p>【講義内容】 整容に関する基礎知識 整容の支援技術</p> <p>【演習内容】 上記内容について、グループに分かれ、講師指導のもと、整容のうち衣服着脱などのロールプレイングを実施</p>
⑦移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	0	<p>【講義内容】 移動・移乗に関する基礎知識 さまざまな移動・移乗に関する用具とその活用方法 介護職員にとっての負担の少ない移動・移乗の支援方法 移動と社会参加の留意点と支援</p> <p>【演習内容】 上記内容について、グループに分かれ、講師指導のもと、車いすの移乗などのロールプレイングを実施</p>
⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	0	<p>【講義内容】 食事に関する基礎知識 食事環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用方法と食事形態とからだのしくみ 楽しい食事を阻害するところとからだの要因の理解と支援方食事と社会参加の留意点と支援</p> <p>【演習内容】 上記内容について、グループに分かれ、講師指導のもと、食事介助などのロールプレイングを実施</p>
⑨入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	0	<p>【講義内容】 入浴、清潔保持に関する基礎知識 さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法 さまざまな入浴・清潔を保つための方法 楽しい入浴を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法</p> <p>【演習内容】 上記内容について、グループに分かれ、講師指導のもと、入浴介助などのロールプレイングを実施</p>
⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	0	<p>【講義内容】 排泄に関する基礎知識 さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法 爽快な排泄を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法</p> <p>【演習内容】 上記内容について、グループに分かれ、講師指導のもと、排泄介助などのロールプレイングを実施</p>
⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	0	<p>【講義内容】 睡眠に関する基礎知識 さまざまな睡眠環境と用具の活用方法 快い睡眠を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法</p> <p>【演習内容】 上記内容について、グループに分かれ、講師指導のもと、体位・姿勢変換などのロールプレイングを実施</p>
⑫死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	6	6	0	<p>【講義内容】 終末期に関する基礎知識とところとからだのしくみ 「死」に向き合うところの理解 苦痛の少ない死への支援</p> <p>【演習内容】 上記内容について、グループに分かれ、講師指導のもと、誤嚥を防ぐための介助などのロールプレイングや終末期の心理・介護に関する考え方などのディスカッションを実施</p>
⑬介護過程の基礎的理解	6	3.5	2.5	<p>【講義内容】 専門性を活かした介護過程の展開</p> <p>【通信学習内容】 ・介護過程の展開について</p>

⑭総合生活支援技術演習	4	4	0	【講義内容】 総合生活支援技術演習（事例による展開）
（合計時間数）	75	63	12	

使用する機器・備品等	（株）日本医療企画刊行 介護職員初任者研修過程テキスト3を使用（演習については、福祉用具の備品：特殊寝台用具・車いす・歩行器・ポータブルトイレ等使用）
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 262商号又は名称：医療法人 仁寿会

科目番号・科目名	(10)振り返り			
指導目標	研修を全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 振り返り	2	2		【講義内容】 研修を通して学んだこと 今後、継続的に学ぶべきこと 根拠に基づく介護についての要点
②就業への備えと研修修了後における実例	2	2		【講義内容】 継続的に学ぶこと 研修終了後における継続的な研修について具体的にイメージできるような事業所等における実例の紹介など
③				
(合計時間数)	4	4		

使用する機器・備品等	(株) 日本医療企画刊行 介護職員初任者研修過程テキスト3を使用
------------	----------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。